



# NIAふれあい掲示板NEWS 6月

2016年6月1日発行 Vol.51

習志野市国際交流協会 日本語教室部会

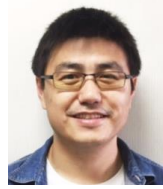
## ●NIAの予定 6月～7月●

6月16日(木)～27日(月)	タスカルーサ市青少年訪問団 受入れ
7月4日(月)～9日(土)	七夕祭りとスピーチ茶話会
7月(白にちは未定)	習志野きらっとサンパ
7月27日(水)	日本語ボランティア研修会 第1回 13:00～16:00

## ●学習者紹介●



- ① 任 遠藤 (月)  
 ② 中国、四川  
 ③ 絵画、手芸、写真  
 ④ 昨年の7月に日本に来ました。日本はとてもきれいな国ですね。文化にも興味があります。日本で楽しく暮らしていきたいです。  
 ⑤ 細川 佐代子



- ① 龔 趙 (水)  
 ② 中国、北京  
 ③ 武術(太極拳)、旅行  
 ④ 日本に来て2年になりました。沢山の観光地に行きました。博士課程を卒業する前に、全国の各県に行きたいです。  
 ⑤ 山田 哲夫



## ●漢字教室 学習者募集! (火曜 10:00～)●

佐伯 京子 日本語ボランティア (火・土)



昨年度の「漢字教室」では、漢字の読みやすさ、熟語や慣用表現などを勉強、日本語能力試験の問題と同じ4択問題形式で、その理解度の確認を行いました。漢字文化圏の学習者が多かったために、ハイレベルな漢字が中心になり、漢字文化圏ではない学習者にはかなり難しい内容になってしまいました。

今年度は漢字文化圏でない方も受講しやすいように、日常生活でよく目にする漢字を、場面別(買い物・病院など)に1授業20字～30字の割合で学習し、1年間で800～1000字を勉強していく予定です。初級レベルからスタートしますので、漢字に興味のある皆さんは、ぜひ火曜日の漢字教室で私と一緒に楽しく勉強しましょう。

## ●NIA総会 5月15日(日)●

日本語ボランティア18名、外国人学習者2名、全体で72名が出席し、活発に質疑応答が行われました。また、総会終了後の「会員のつどい」へは54名の参加があり、会員同士の親睦を深める良い機会となりました。

## ●日本語ボランティア養成講座のご案内●

皆様の周りで日本語ボランティアに興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひお誘いください。お待ちしております。

- ・8月18日～12月15日 木曜日 9:30～12:30 全16回
- ・場所: 菊田公民館・サンロード6階 大会議室 併用
- ・講師: 吉田 聖子 先生 受講料: 12,000円

## ●私のふるさと自慢 ① ● ~習志野市の歴史~

石器や火を焚いた形跡から、習志野市内に2万年数千年前の旧石器時代から人間が住んでいたことがわかっています。実籾や藤崎には縄文時代の遺跡や貝塚が、鷺沼城址公園周辺には鷺沼古墳群などがあります。JR津田沼駅南側にある「奏の杜」を建設した際には谷津貝塚が発掘され、奈良時代から平安時代(7世紀末～10世紀前半)に建てられた住居400軒と、200棟以上の建物の集落の跡が明らかになりました。

明治22年(1889年)には谷津・久々田(菊田)・鷺沼・藤崎・大久保新田の5村が合併し、人口約4500人の津田沼村が誕生しました。「津田沼」の名前は、谷津の「津」、久々田の「田」、鷺沼の「沼」を合わせて名付けられました。

近代に入ると習志野市の広い地域が「軍郷」と呼ばれ、陸軍の演習場やロシアやドイツなどの捕虜の収容施設などが設けられました。当時の陸軍の病院(現・千葉県済生会習志野病院)、軍関係施設(現・日本大学、東邦大学、

東邦中・高等学校、千葉工業大学)、鉄道(新京成電鉄)などは、戦後民間の施設として利用されています。

習志野の海岸は遠浅だったので昔から潮干狩りや海苔の養殖が盛んでしたが、1960年代以降に埋め立てられ、袖ヶ浦、秋津、香澄に団地や分譲住宅地ができた他、茜浜や芝園に工業地が作られました。市民に親しまれてい

る谷津干潟は埋め立てられず、野鳥の飛来地として平成5年(1993年)にラムサール条約に登録されました。

新しいシリーズ1回目の今回は習志野市の歴史を簡単に紹介しましたが、これからは皆さんの故郷を紹介していきたいと思います。皆さんの投稿をお待ちしています!